

臨床データサイエンス学環の特色

臨床データサイエンス学環は、北海道医療大学が有する医療・福祉・看護・心理・リハビリテーションなど多様な医療系学部・学科の教育資源を結集し、「医療現場をフィールドとしたデータサイエンティストの育成」という役割を担います。学部横断的なカリキュラムを通じて、医療現場で求められるデータサイエンスの知識とスキルに加え、医療専門職と円滑に連携・協働できるコミュニケーション能力を兼ね備えた人材を育成します。また、臨床現場や地域医療の課題解決を実践的に学ぶ「実践型教育」を重視し、次世代の医療 DX を牽引するリーダーとなりえる人材の輩出を目指します。

本学環の最大の強みは、多職種連携が日常的に行われている医療系総合大学の環境を活かし、「データサイエンス力」と「医療現場とのコミュニケーション力」の両方を実践的に養える点です。全国でも例を見ない、学部・学科横断の教育体制により、医学・看護学・リハビリテーション・福祉・心理など幅広い専門領域とデータサイエンスを融合した独自の教育を提供します。これにより、医療現場の多様な課題をデータ駆動型で解決できる人材を育成することが、本学環の大きな特色となります。